

Ubuntu 18.04でのEasyISTRの環境構築

— Salome, FrontISTR, EasyISTR —

従来は手動インストール不要であったが、手動インストールしたもの

(1) Salomeのインストール

python: python関係は何もインストールされていなかった

(2) FrontISTRのビルド

gfortran: 従来は依存関係で自動インストールされていた

(3) EasyISTRの動作

python-gtk2

EasyISTRの動作中に警告メッセージが出るもの

(1) GNOME-terminal

(2) Paraview (リポジトリからインストールしたバージョン5.4.1)

公式サイトからダウンロードしたバージョン5.5.0は問題なし

aptからは必要なライブラリが不足しているように思われる

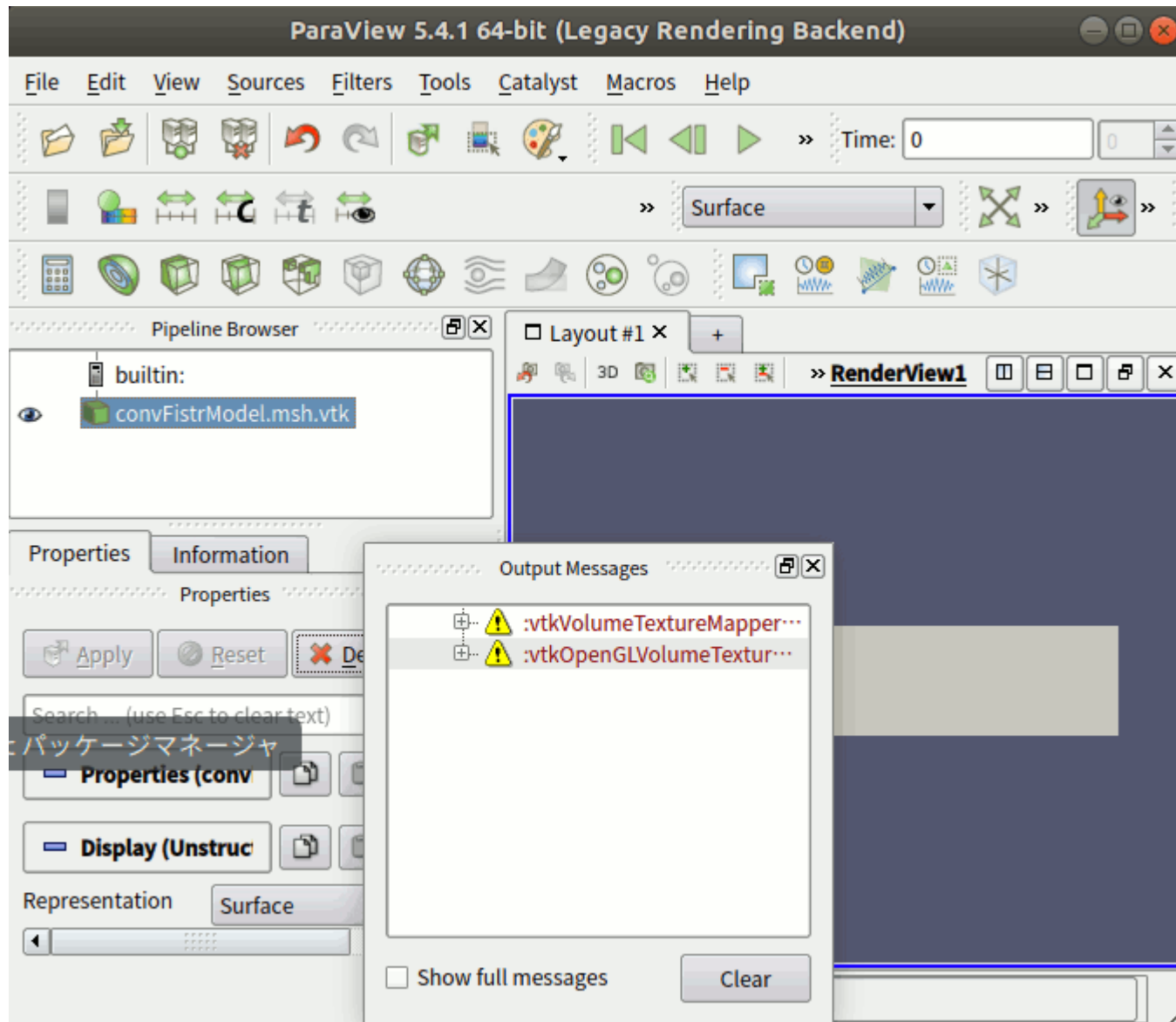
GNOME-terminalの警告メッセージ

```
meshデータを読み込みました。  
fistr2vtk.py -mesh FistrModel  
meshファイルを変換中...  
変換しました  
paraview convFistrModel.msh.vtk &
```

Paraviewの警告メッセージ(省略)

```
Body: Steel を設定しました  
fixにBOUNDARYを設定しました  
loadに面荷重を設定しました  
線形solverの設定を変更しました  
# オプション“-x”は非推奨であり、将来のgnome-terminalバージョン  
# ンでは削除される可能性があります。#  
# “--”を使用するとオプション指定を終了します。この後ろに実行  
# するコマンドラインを指定します。#
```

Paraview (リポジトリのバージョン) の画像上のメッセージ



Paraview (公式サイトのバージョン) : 警告メッセージなし

